

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公開番号】特開2015-7664(P2015-7664A)

【公開日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2013-131906(P2013-131906)

【国際特許分類】

G 02 C 13/00 (2006.01)

G 01 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 02 C 13/00

G 01 B 5/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月22日(2016.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡フレームを保持する眼鏡フレーム保持手段を有し、前記眼鏡フレーム保持手段に保持された眼鏡フレームのリムをトレースしてリムの三次元形状を測定する眼鏡枠形状測定装置において、

前記眼鏡フレーム保持手段は、眼鏡フレームの左右リムを眼鏡フレーム装用時の縦方向から挟み込んで保持するために構成された第1スライダー及び第2スライダーと、

前記第1スライダー及び第2スライダーの少なくとも一方を縦方向に移動可能にガイドするガイド手段と、を備え、

前記ガイド手段は、前記第1スライダー及び第2スライダーによって保持されたフレームのブリッジの後側で、且つ、左リムの鼻側端と右リムの鼻側端との間に配置された支柱部材を備えることを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【請求項2】

請求項1の眼鏡枠形状測定装置において、前記第1スライダーと第2スライダーとの間の左右両端は外側に向けて開放されていることを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【請求項3】

請求項1又2の眼鏡枠形状測定装置において、

眼鏡フレームのリムをトレースしてリムの三次元形状を測定するための測定手段であって、リムの溝に挿入される測定子と、前記測定子をリムの径方向に移動させるために構成された測定子移動ユニットと、リムの輪郭に沿って前記測定子の先端がリムをトレースするように、リムの輪郭内を通るように設定された回転軸を中心に前記測定子移動ユニットを回転するために構成された回転ユニットと、を有する測定手段を備え、

前記回転ユニットは、前記支柱部材の後側に配置されていることを特徴とする眼鏡枠形状測定装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0007】**

眼鏡フレームを保持する眼鏡フレーム保持手段を有し、前記眼鏡フレーム保持手段に保持された眼鏡フレームのリムをトレースしてリムの三次元形状を測定する眼鏡枠形状測定装置において、前記眼鏡フレーム保持手段は、眼鏡フレームの左右リムを眼鏡フレーム装用時の縦方向から挟み込んで保持するために構成された第1スライダー及び第2スライダーと、前記第1スライダー及び第2スライダーの少なくとも一方を縦方向に移動可能にガイドするガイド手段と、を備え、前記ガイド手段は、前記第1スライダー及び第2スライダーによって保持されたフレームのブリッジの後側で、且つ、左リムの鼻側端と右リムの鼻側端との間に配置された支柱部材を備える。